

『岡山災害ボランティア』活動報告

県立神崎高等学校ボランティア部

1995年1月の阪神・淡路大震災や2004年の台風23号により河川が氾濫し、豊岡・出石では大きな被害が出ました。多くの方々の県内外から義援金やボランティアの参加によって日常を取り戻してきました。

本年6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心に北海道や中部地方など全国的に広い範囲で記録された台風7号および梅雨前線等の影響による集中豪雨は、15府県で計227人が犠牲になりました。3か月が経過した今も避難生活を強いられています。

10月20日（土）には、姫路城前歩道で7月豪雨（西日本豪雨）義援金街頭募金を行いました。募金総額は19,278円で、翌日全額を赤十字に寄付しました。

今回は、現地での活動報告です。なお、この活動は、「ひょうごボランタリープラザとの協働」による取組である。

1 日 時 平成30年10月28日（日） 7時～18時

2 場 所 岡山県倉敷市真備地区

3 参加生徒 校長、男子生徒8名、女子生徒7名、教員2名の計18名の参加
参加生徒の内訳は、ボランティア部員、生徒会と3年生です。

4 当日日程 7:00 出発、
9:15 まびいきいきプラザ到着・受付後、活動場所へ移動
10:00～15:00 活動場所で作業
15:15 まびいきいきプラザ終了報告
15:30 出発
18:00 学校帰着・解散

5 他 団 体 同地区で県立香寺高等学校約30名も活動

6 活動内容 水害で使えなくなった家財等が置かれていた公園の撤去後の後処理が中心であった。地区の方からはこの公園は、「水害前は、子どもたちがキャッチボールや自転車等で遊んでいた場所だった。」と聞きました。活動現場は、家財等は完全に撤去されていましたが、ガラス破片や釘・金属、木材の破片等が土に埋まった状態で子どもたちが遊べる状況ではありませんでした。神崎高校は、ボランティアセンターからの依頼を受け、香寺高校が合同で後処理の作業を行いました。また、真備地区の住居は、復興中の家が並んでいる状態で、住める状態ではない家が大半で、以前のように家族と一緒に住める状態に戻るのは、まだまだ時間がかかりそうです。

7 当日の様子 以下は当日のボランティア活動の様子を写した写真です。



写真1 当日マイクロバス



写真2 きびいきいきプラザ



写真3 団体受付



写真4 現地での作業説明



写真5 撤去後のゴミ収集



写真6 午前中作業風景



写真7 高梁川と昼休み



写真8 午後の作業



写真9 分別作業



写真10 作業終了後の公園



写真11 作業終了後の記念写真



写真12 終了報告所

写真のように午前の作業は、公園に埋まったガラス片、釘・金属、木片等の掘り起こしと、土壤とともに回収作業でした。午後は、土壤とともに回収したゴミを分別が中心となりました。作業を担当した面積は公園全体の4分の1で、残りは次の団体に委ねることになりました。

8 後書き

校長、大井先生、15名の生徒およびその保護者の方々には深く感謝いたします。